



東武鉄道株式会社
東武緑地株式会社
壬生町

東武宇都宮線の壬生駅にひまわりを、国谷駅にコスモスの植栽を実施し、地元と連携して「いちご王国」ラインを盛り上げます！

(福島ひまわり里親プロジェクトに賛同しています)

東武鉄道（本社：東京都墨田区、取締役社長：都筑 豊）は、東武緑地株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：青木 雅彦）、壬生町（町長：小菅 一弥）と連携し、地元小学生の協力をいただき、東武宇都宮線の壬生駅構内でひまわり、および国谷駅構内でコスモスの植栽を行います。今後も四季を通じて駅を様々な花で装飾することで東武宇都宮線の愛称名である「いちご王国」ラインを盛り上げてまいります。

当社と東武緑地ではこれまでも、栃木県で2022年秋に開催された「いちご一会とちぎ国体」ならびに「いちご一会とちぎ大会」両大会を盛り上げるための県民運動「オールとちぎプロジェクト（第2弾）いちご一会花育て隊」に賛同し、会場最寄駅である東武宇都宮線の各駅を駅近辺の小学校や保育園の協力のもと花いっぱい装飾することで、電車でお越しいただくお客様をお出迎えするプロジェクトを実施しました。

昨年度については、国谷駅での菜の花、コスモスの植栽に加え、安塚駅では花愛好会の皆様方に植栽管理の協力を得ながら、地元主催のハロウィンイベントで東武緑地による装飾の演出をお手伝いするなど、友好な関係性を構築してまいりました。

本取り組みについては、これからも継続的に取り組んでいくものとし、対象範囲を広げていくことで沿線にたくさんの花を咲かせ、宇都宮線の観光名所としての創出等、沿線価値の向上に繋げていく予定です。

詳細は別紙のとおりです。



△今年4月の国谷駅の様子

東武宇都宮線における植栽について

沿線地域の小学校に種まきをご協力いただき、ひまわりの花で壬生駅への植栽を、コスモスの花で国谷駅構内へ植栽を行います。なお、播種に使用するひまわりの一部は「福島ひまわり里親プロジェクト」に賛同しており、開花後に採れた種を福島県に送付し復興のシンボル“ひまわり”を福島の大地に咲かせます。

[福島ひまわり里親プロジェクト | 日本をひまわりでつなぐ \(sunflower-fukushima.com\)](http://sunflower-fukushima.com)



△開花イメージ 左：ひまわり 右：昨年10月の国谷駅コスモスの様子

各駅における種まきについて

① 壬生駅での種まき

東口の駅構内にある土壌を改良し、ひまわりの種を約1,000粒、東武緑地スタッフ（花育アドバイザー）の説明のもと種まきを実施しました。

日 程：6月27日（木） 10時00分～10時45分

参 加：壬生町立壬生小学校69名（小学2年生）

② 国谷駅での種まき

東口の駅構内にある桜の木のふもとの土壌を改良し、コスモスの種を約5,000粒、東武緑地スタッフ（花育アドバイザー）の説明のもと種まきを実施します。

日 程：7月16日（火） 15時00分～15時45分 ※雨天中止、予備日7月18日（木）

参 加：壬生町立壬生東小学校64名（小学6年生）

③ 播種から開花までの様子について、当社の SNS 上で花の生育の過程を発信します。壬生町でも同様に SNS 等で適宜PRしてまいります。

以 上